



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyouzan@jcp-yachiyo.jp



第641号

2024年7月15日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

行政文書の性別欄を削除、先進市を視察

全国に先駆けて職員採用試験の申し込みから性別欄を削除し、以来選挙の投票所入場券から各課の行政文書の性別欄を順次削除するなど、先進的な取り組みを行なっているのが福井県越前市です。7月8日、日本共産党市議団は市民協働課ダイバーシティ推進室から取り組みの詳細を聞き、八千代市にも取り入れられないか研修してきました。



2024年7月8日、福井県越前市議会議場にて

職員の声からはじまった取り組み

2014年、越前市では1人の職員の声から、市民と一緒に「多様な性について考える講演会」を開催し「LGBTは身近」「市の職員が関心」を持つきっかけとなったことを知りました。

市民に対して平等に行政サービスを執行するため、職員が正しい知識を持ち、必要な対応をすることは、公務における全ての業務を考える際に不可欠との考えから、2015年から毎年、新採用職員研修が行われています。

2016年から越前市職員組合での性の多様性に関する取り組みが始まり、慶弔規定を改正し、同性パートナーでも結婚祝い金や死亡弔慰金を支給。さらに全職員研修も始まり、2022年からは会計年度任用職員の研修も行われています。

行政手続き見直しに向けた経緯

越前市では、2017年度から職員採用試験の申し込みから性別欄の削除。2019年12月から申請書等の性別欄の見直しのために調査が始まりました。

性別欄の見直しは、主に性自認による差別等に基づく困難を抱える方(トランスジェンダー)の方は、性別を記入することへの抵抗感、見た目との違いから性別を再確認されることに精神的苦痛を感じることから検討を始めたとのこと。越前市の行政書類で性別欄があるのは239件。市の変更裁量がある113件について見直しを検討し70件を削除しています。

見直しの検討は職員のととても温かな気持ちが出ています。「なんとなく設けていないか」「必要であっても他の方法はないか」など本人の負担がない方法を模索し進められていたことがわかりました。

人権問題は全てに通じている

今回の視察では他部署との連携も知りたいと要望を出していましたが、そもそもが職員全体の認識を高めるために研修が行われ、LGBTQ+だけでなく高齢者、子どもの人権、外国籍の方々全てに通じる人権擁護推進事業として越前市が取り組んでいることに改めて、全庁的な取り組みであることの素晴らしさと市民が大事にされていることを感じました。

八千代市では制定されていない子ども条例は2012年、パートナーシップ宣誓制度は2022年から施行されています。八千代市での実現に向けて日本共産党市議団は頑張っていきます。

